

平成15年度
「川の通信簿」実施マニュアル（案）

平成15年3月

河 川 環 境 課

目 次

1 . 目的及び運用	1
1.1 目的	1
1.2 対象とする河川	1
1.3 実施時期	1
2 . 「川の通信簿」の実施手順	3
3 . 「川の通信簿」の実施方法	5
3.1 実施個所の選定	5
3.2 実施個所別の「点検個所の紹介シート」の作成	7
3.3 参加者の募集	9
3.4 点検の実施	10
3.5 集計	12
3.6 評価	14
3.7 公表	16

1 . 目的及び運用

本マニュアル（案）は、河川空間を親しみやすさの観点から評価する「川の通信簿」を実施するための手順を定めたものである。

なお、運用にあたっては、個々の河川の状況に応じ、適切に対処することとする。

【解説】

1.1 目的

「川の通信簿」は、これまで「河川水辺の国勢調査（河川空間利用実態調査）」において実施されてきた「アンケート調査」に代わるものである。河川空間の親しみやすさを、市民との共同作業によるアンケート調査により評価するとともに、その結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理等に反映し、良好な河川空間の保全、整備を図っていくための基礎材料とするものである。

なお、全国的な川の通信簿については「河川空間利用実態調査」実施時において行うものであるが、必要に応じ適宜実施してもよい。

（主な特徴）

市民と行政が連携して実施し、河川空間の良い点、悪い点を把握し、情報を共有できること。

実際の現地で、点検するものであること。

河川空間の改善点のみならず、魅力ある点についても把握し、川の有する魅力ある点として、河川愛護の普及や環境学習、観光等に資するものであること。

1.2 対象とする河川

全国1級水系のうち直轄管理区間全体を対象とする。ただし、直轄区間以外でも、地方公共団体と協力して実施することが可能な箇所では実施することがのぞましい。

1.3 実施時期

「川の通信簿」は、現場を見ながら「点検シート」に記入することにより、河川空間を評価するものである。

実施時期は、多くの人々が川を利用する時期（夏休み）であること、梅雨明け以降で好天が期待できること、7月が河川愛護月間で広報しやすいことなどを考慮し、原則として**7月から8月にかけて**とする。

ただし、「北国の冬のイベント」「桜など季節の花の美しい場所」などが評価を大きく左右することもあるので、「点検個所の紹介シート」（後述）を作成し、そ

の状況を記入者に把握してもらうこととする。なお、この「点検個所の紹介シート」は原則としてすべての点検個所で作成するが、当該地区のパンフレット等がある場合は、これに代えてよい。

2 . 「川の通信簿」の実施手順

「川の通信簿」は、以下の手順で実施するものとする。

実施個所の選定
実施個所別の点検シート作成
参加者の募集
点検の実施
集計
評価（通信簿の作成）
公表
施策への展開

【解説】

「川の通信簿」の実施手順を図 - 1 に示す。

なお、スケジュールについては、「河川空間利用実態調査」を念頭においたものである。

2.1 実施個所の選定

点検を実施する場所を、あらかじめ選定する。

2.2 実施個所別の「点検個所の紹介シート」の作成

実施個所の特徴がわかるようなシートを作成する。

2.3 参加者の募集

参加者の募集は、市民団体・教育機関への呼びかけ、自治体広報誌、新聞、HP等により広く募集する。

2.4 点検の実施

点検は、必ず現地におもむいて実施し、原則として職員が参加するものとする。

2.5 集計

結果の集計を、様式に従って行う。

2.6 評価（通信簿の作成）

集計結果から、点検個所の成績を評価し、各点検個所の通信簿を作成する。

2.7 公表

点検の結果を「川の通信簿」「親水マップ」等として、広く一般にわかりやすく公表する。

2.8 施策への展開

点検の結果を用い、今後の施策に展開する。

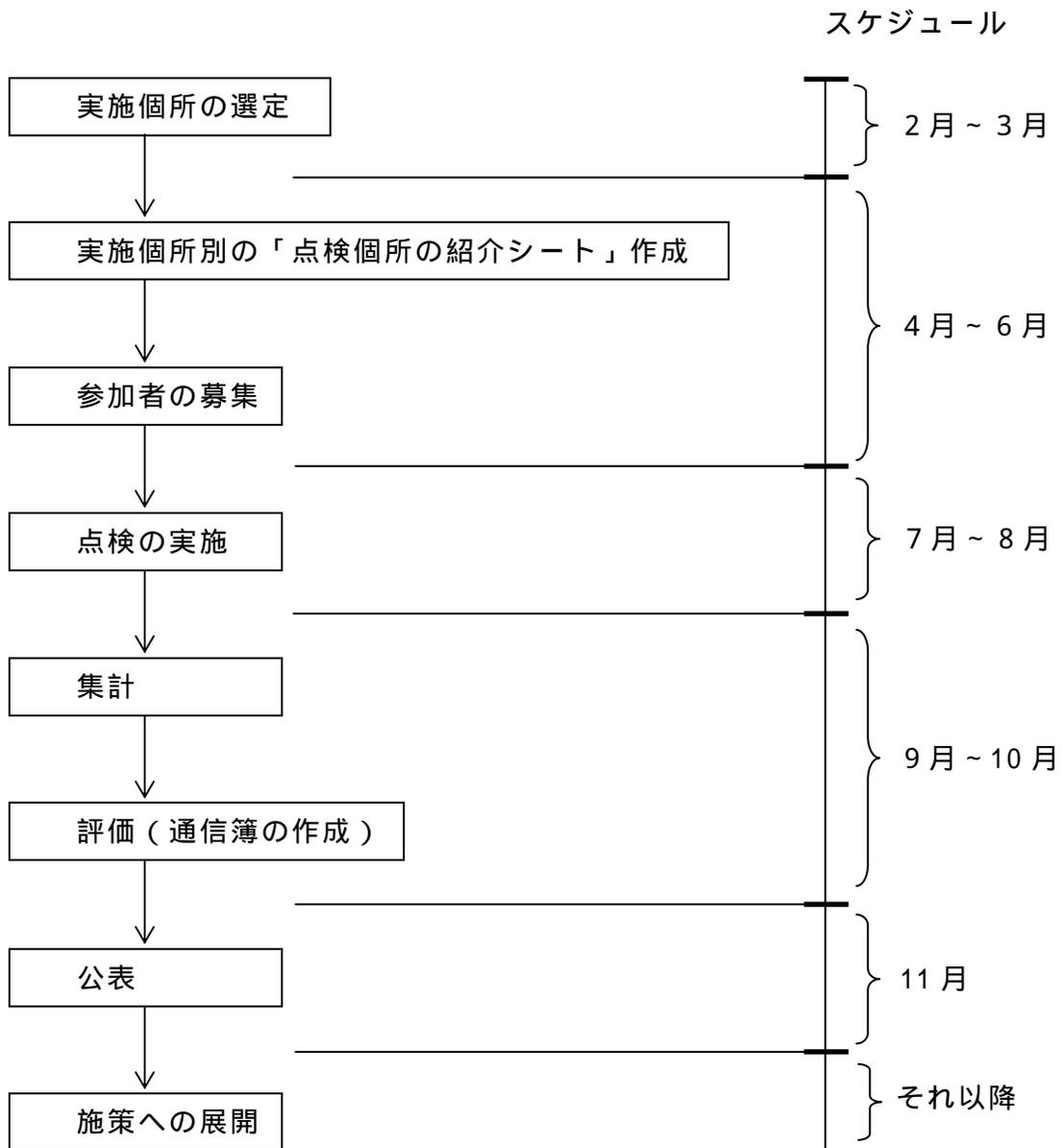


図-1 実施手順

3. 「川の通信簿」の実施方法

3.1 実施個所の選定

選定の観点は、	親水性が高い
	景観が良好である
	今後の整備が考えられている
	自然が豊か
等とする。	

【解説】

3.1.1 実施個所の選定

「川の通信簿」は、特定の整備された河川公園などの評価のみならず、自然豊かな魅力ある空間など、その川の有する河川空間の網羅的な評価についても行うものであり、河川全体のバランスを見て選定を行う。

また、実施個所の特徴がよりよくわかるように、空間利用実態調査の定点と同様に、日の出から日没までの利用者数や利用形態の把握を併せて行う。(計測方法は、平成5年度版河川水辺の国勢調査マニュアル(案)空間利用実態調査編p3参照。)

注：川の通信簿の実施個所が空間利用実態調査の定点に換わるものではありません。空間利用実態調査の年間利用者数を推定する定点は、継続性の観点から従来の定点を用いてください。

< 選定の考え方 >

親水を目的に施設整備が行われているなど、その川の代表的な親水空間であり、今後、地域のニーズ・課題を把握し、新たな整備や既存施設の改善が望まれる河川空間。

特別な整備が行われていないが、美しい景観を有しているなどその魅力のPRが望まれる河川空間。

今後、親水を目的に整備計画がある又は整備中であり、地域のニーズを把握することが望ましい空間。

施設整備はされていないが、豊かな自然環境がある河川空間

(その他留意事項)

その川の魅力を網羅的に評価するために、「河川環境管理基本計画」の各ゾーニング(自然ゾーン、自然利用ゾーン、利用ゾーン等)から、バランスよく選定する。

選定後、様式1にとりまとめを行う。

3.2 実施個所別の「点検個所の紹介シート」の作成

選定した実施個所について、点検がスムーズに行えるよう、「点検個所の紹介シート」を作成する。

【解説】

選定した実施個所について、点検者に最低限知っておいてほしい情報を整理した「点検個所の紹介シート」を作成する。なお、既存のパンフレット等も活用してもよい。

点検者があらかじめ知っておいた方がよい情報について、とりまとめる。
点検の時期が、7月～8月であることを踏まえ、他の時期（桜、紅葉、冬場、イベント時）に特色がある個所の場合には、その様子を写真などで点検者に示す。

歴史・文化について、河川との係わりのある産業、祭り、イベント等の状況を、写真等を活用して示す。

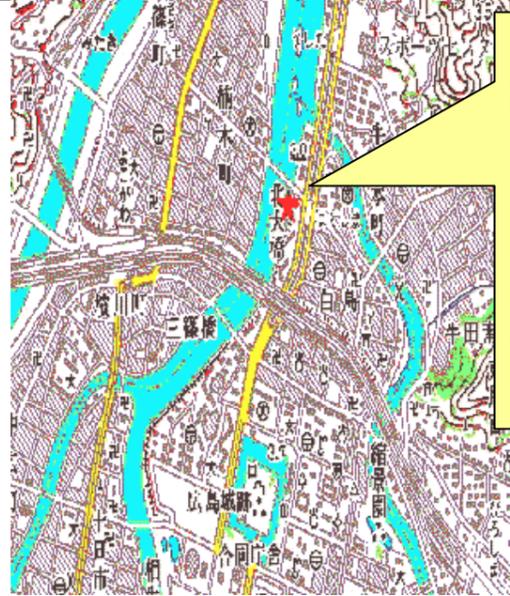
施設の状況を示す平面には、点検の対象となる広場、グラウンド、散策路、休憩施設、トイレ、案内板、駐車場等の配置を示す。

作成例を、様式2に示す。

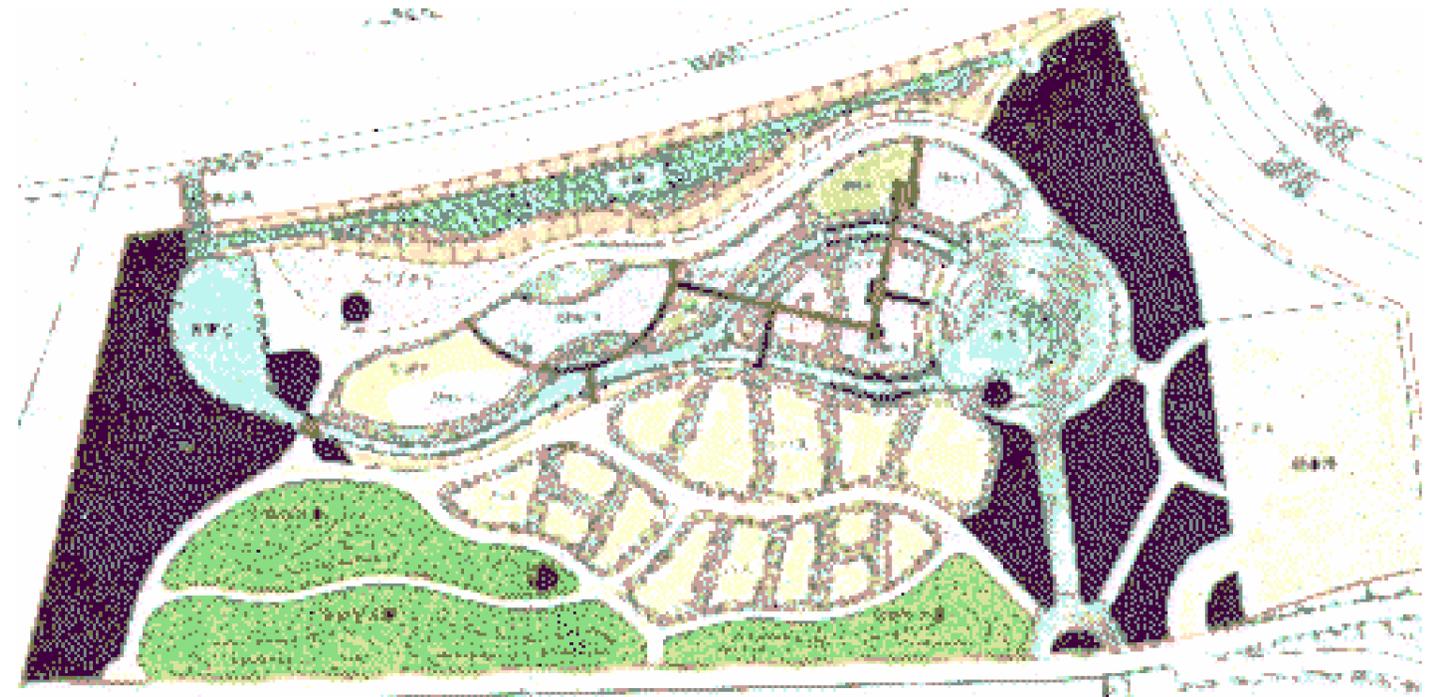
「点検個所の紹介シート」

様式 2

地方整備局名	地方整備局	事務所名	河川事務所
水系名	川水系	河川名	川
個所名	広場	所在地	県 市 地先
施設管理者	市	面積	ha
区間延長	km	KP・左右岸	河口より km・岸
主なアクセス方法	鉄道 駅から徒歩 分。		バス停より徒歩 分。



位置図



広場

(広場、グラウンド、散策路、休憩施設、トイレ、案内板、駐車場の配置等)

・主な利用(スポーツ、イベント、散歩、自然観察等利用の状況)

・管理の状況(広場等の管理主体、管理方法、清掃・除草等の実施状況)

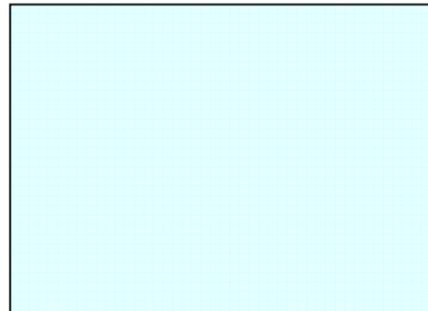
・川の四季(例)
(季節毎の状況がわかる写真。歴史・文化(河川との係わりのある産業、祭り、イベント等)に係わる写真)



時代の渡し



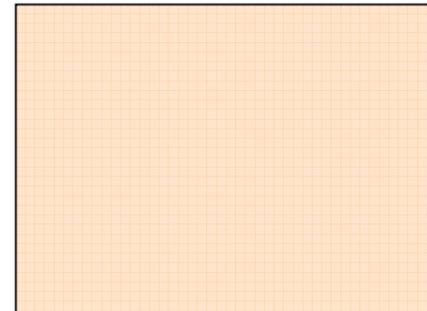
月上旬の桜並木



月 日頃
アユ釣り



月 日頃
花火大会



月頃
紅葉



月～ 月頃
ハクチョウの飛来

3.3 参加者の募集

参加者の募集は、各地方整備局で行う。募集の方法は、市民団体や教育機関への呼びかけ
点検日に、現地で、利用者をお願い
新聞、自治体の広報誌、ミニコミ紙などで公募
等とする。
なお、募集人員は、各点検箇所ごとに20～30名を目安とする。

【解説】

評価の客観性を保つために、なるべく多くの市民団体により点検を実施する。主に以下の方法による。

日頃から、その河川空間で活動を行っており、その河川空間をよく知っている市民団体や、その川で活動を行っている小中学校等に依頼する。
従来の空間利用実態調査で実施しているとおり、現地にて直接お願いする。
新聞、自治体の広報誌、ミニコミ紙などで公募を行い、広く参加者を募る。
この場合、記事にHPのURLを表記する。

なお、募集にあたっては、以下の点を明記する。

子どもが参加する場合には、親の同伴または同意のもととすること。
万が一のことを考えて、保険等を活用すること。

3.4 点検の実施

点検は、下記の実施形態とする。

- ・あらかじめ定めた期日に、職員の参加のもとで、集団で点検する。

【解説】

3.4.1 点検の実施

(1) 点検の留意事項

- ・現状の河川空間について、評価を行うものであり、その河川空間の親水整備の状況が、整備済み、未整備（計画有り無し）にかかわらず、現状においての評価を行うこと。
- ・その河川空間が有しているもので「何が魅力的で、何が魅力的でないのか」を点検するものであり、個別施設のニーズ把握に片寄らないように充分説明すること。
- ・写真撮影

点検時に写真撮影（デジカメなど）を適宜行う。「川の通信簿」作成時に使用するので良いと思われる個所、悪いと思われる個所などを適宜撮影する。

(2) 現場における職員の対応の留意点

- ・危険な場所へ立ち入らないように注意する。
- ・事故発生時の対応について、あらかじめ明確にしておく。（保険の活用、応急措置の実施など）
- ・点検者が集まり次第、点検についての説明を行う。
 - 点検個所の特徴などの説明（「点検個所の紹介シート」を活用する）
 - 点検シートへの記入方法の説明説明する場合には、回答を誘導するような説明は避ける。
- ・点検シートは、職員（行政）も記入し、回収時に、市民とは分けて回収する（集計時に分けるため）。

3.4.2 関係市町村との連携

実施個所が、占用などにより公園として利用されている場合、必ず占用者に「川の通信簿」実施の主旨説明を事前に行うこと。また、占用者と共同で実施することが望ましい。

点検シート記入例

記入の方法

よくするための整備は、どのくらい急いでやったほうがいいですか？
【 すぐ、 2~3年くらい、 5年くらい、 それ以上】の中から選んでください。

点検日：平成15年

NO	点検項目	現在の状況は どうですか				これ以上よくなる ことは必要ですか		この点検項目は、 この場では重要ですか					
		良い	普通	悪い	必要	不要	非常に重要	重要	普通	不要			
1	豊かな自然を感じますか												
2	水はきれいですか												
3	流れている水の量は十分 ですか												
4	ゴミがなくきれいですか												
5	危険な場所がなく安全で ですか												
6	景色はいいですか												
7	歴史・文化を感じますか												
8	堤防や河川敷には、近づ きやすいですか												
9	水辺へ入りやすいですか												
10	広場は利用しやすいです か												
11	休憩施設や木陰は十分で ですか												
12	散歩はしやすいですか												
13	トイレは使いやすいです か												
14	案内看板はわかりやすい ですか												
15	駐車場は使いやすいです か												
総合評価 (現在の状況を総合的に見て、 をつけてください)		(すばらしい)		(相当よい)		(普通)		(悪い)		(相当悪い)			
特に良い点	<ul style="list-style-type: none"> 水がきれいで心地よい トイレがきれいで良い 	ご自由にお書きください。											
特に悪い点	<ul style="list-style-type: none"> 木陰が少ない 河川敷に降りる階段が少ない 遊歩道が切れぎれになっている 	ご自由にお書きください。											

現在なくて不満な場合は、「悪い」に。

点検不要と思うものは、あらかじめ消してください。

点検シート

川河畔公園 川の通信簿 点検シート

点検日：平成 年 月 日、天候 点検者：1男 2女、年齢 才代

NO	点検項目	現在の状況は どうですか			これ以上よくなる ことは必要ですか		この点検項目は、 この場では重要ですか						
		良い	普通	悪い	必要	不要	非常に重要	重要	普通	不要			
1	豊かな自然を感じますか												
2	水はきれいですか												
3	流れている水の量は十分ですか												
4	ゴミがなくきれいですか												
5	危険な場所がなく安全ですか												
6	景色はいいですか												
7	歴史・文化を感じますか												
8	堤防や河川敷には、近づき やすいですか												
9	水辺へ入りやすいですか												
10	広場は利用しやすいですか												
11	休憩施設や木陰は十分ですか												
12	散歩はしやすいですか												
13	トイレは使いやすいですか												
14	案内看板はわかりやすいですか												
15	駐車場は使いやすいですか												
総合評価 (現在の状況を総合的に見て、 をつけてください)		(すばらしい)		(相当よい)		(普通)		(悪い)		(相当悪い)			
特に良い点													
特に悪い点													

3.5 集計

点検終了後、各点検箇所ごとの通信簿を作成するために集計を行う。
集計の様式は、様式4に従う。

【解説】

集計項目は、下記の通りとする。

(1) 点検箇所の概要

空間名、所在地、河川名、面積、占有者、整備状況、主な活動

(2) 点検時の概要

点検参加者人数（うち行政人数）、主な参加団体、点検日時、天候、気温、調査時の状況（流量の過多など、通常時と特に状況が異なる場合に記入）

(3) 点検結果

- 各点検項目（1～15）ごとの評価。該当番号を記入。

性別（1：男、2：女）

年齢（1：10代、2：20代、3：30代、4：40代、5：50代、
6：60代、7：70代、8：80代）

民間・行政（1：民間、2：行政）

現在状況（3：良い、2：普通、1：悪い）

整備必要（1：必要、0：不要）

時期（4：すぐ、3：2～3年、2：5年、1：それ以上）

重要度（3：非常に重要、2：重要、1：普通、0：不要）

総合評価（星の数を記入）

「平均」「整備必要の%」「重み付き評価」「達成度」はエクセルにあらかじめ入力してある式を使う。

【エクセル表の入力式の意味】

「平均」：有効回答（無回答を除いたもの）の単純平均（四捨五入）

「整備必要の%」：有効回答のうち「必要」と答えた人の割合

「重み付き評価」：現在状況の平均×重要度の平均

「達成度」：(重み付き評価1～15の和)÷(満点：全て「良い」場合3×重要度の平均1～15の和)を割合表示したもの

(4) 自由記入欄

- 特に良い点を抽出して記入
- 特に悪い点を抽出して記入

3.6 評価

各点検箇所ごとに、様式5に従い「通信簿」を作成する。

【解説】

「通信簿」の作成要領および作成にあたっての留意事項は、下記のとおりとする。

キャッチコピー

- ・ 点検箇所を適切に表現できるキャッチコピーを考える。
- ・ 小学校5年生程度にもわかるような表現を用いる。

公園はこんなところ

- ・ 河川名、所在地、アクセス方法、面積、管理者、特徴、主な利用、年間および7月の休日の利用者数 等について簡潔にまとめる（平成15年秋の公表時は、7月の休日の利用者数を記入する）。
- ・ その場をよく表している写真を添付する。
- ・ 点検参加人数を明記する。

平成15年現在の成績表

- ・ 総合評価として、集計結果による星の数を表示する。
- ・ 各項目の評価についても、集計結果を表示する（項目ごとの平均値を表示）。また、各項目のうちよい点は緑、悪い点は赤で網掛けする。

「よい点（緑）」「悪い点（赤）」の着色の目安

よい点（緑）：「現在の状況 = 良い」 + 「重要度 = 非常に重要 or 重要」を満たしているもの。

悪い点（赤）：「現在の状況 = 悪い」 + 「整備必要 = 50%以上」 + 「重要度 = 非常に重要 or 重要」を満たしているもの。

特に良い点・特に悪い点

- ・ 点検者のコメントの代表的なものを記載する。

総合コメント

- ・ 通信簿をつける先生になったつもりで、よい点をほめ、また、どうすれば今後星の数を増やすことができるかコメントする。

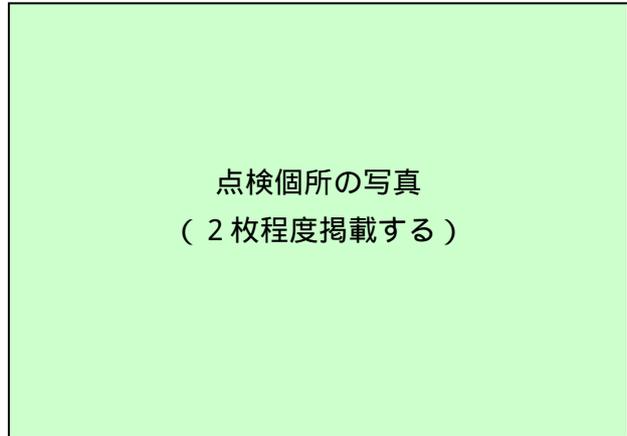
～川の親しみやすさの成績表～ 川の通信簿

個所名： 川 河川公園

子供やお年寄りにもやさしい河川公園 (キャッチコピーを記入)

河川公園はこんな所

河川名	1級河川	川水系	川右岸	K~	K
所在地	県	郡	町字		
アクセス	線	駅より徒歩	分		
面積	m ²				
管理者	町				
特徴	当 公園は、...				
主な利用	散策、水遊び				
利用者数					
点検参加人数					



平成15年現在の成績表

総合的な成績： (三つ星)

かなり良い部分があり一定の満足感を味わえる

No.	点検項目	現在の状況			整備 必要 %	重要度			
		良い	普通	悪い		非常に 重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか				40%				
2	水はきれいですか				65%				
3	流れている水の量は十分ですか				25%				
4	ゴミがなくきれいですか				60%				
5	危険な場所がなく安全ですか				25%				
6	景色はいいですか				30%				
7	歴史・文化を感じますか				20%				
8	堤防や河川敷には、近づきやすいですか				20%				
9	水辺へ入りやすいですか				30%				
10	広場は利用しやすいですか				15%				
11	休憩施設や木陰は十分ですか				25%				
12	散歩はしやすいですか				25%				
13	トイレは使いやすいですか				25%				
14	案内看板はわかりやすいですか				50%				
15	駐車場は使いやすいですか				15%				

良い点
 悪い点

特に良い点

都心部にありながら、広く開放的な空間となっている。
住宅地から自然と散策路により河川空間へと入ることができる。
トイレは、車椅子用も完備され、清潔に管理されており非常にすばらしい。

特に悪い点

ゴミ箱はあるが周りがきたない。
コンクリートの水路などが人工的である。
身近に生物が観察できるような川にしたい。
日陰にいるところが少ない。
散策の途中で休憩できる木陰が必要

総合コメント

トイレの整備など、利用者にやさしい配慮がなされているすばらしい空間です。
5つ星にするためには、ゴミをなくし、緑を多くする工夫が必要です。

3.7 公表

結果の公表は、下記の方法で行う。

HPでの公開

その他の公開方法

このほか、可能な手段を活用して、より多くの人々に周知する。

【解説】

結果の公表については、広く一般に知らしめることに留意して行う。

HPでの公開については、必ず実施することとし、他にも地域特性等を鑑みて、それぞれの地域で可能な手段を活用する。

(1) HPでの公開

- ・ 各地方整備局単位でホームページ上に公開する。
- ・ 公開内容は、川の通信簿の目的、点検内容、点検実施個所一覧、点検実施の概要（実施期間・参加者数・評価結果概要等）、各点検個所ごとの通信簿の5項目を基本とする。
- ・ また、点検実施個所を「様式6」のような「親水マップ」に示し、一般の方にもわかりやすく公開することに努める。

(2) その他の公開方法

- ・ 地元新聞、ミニコミ誌、自治体広報誌などに簡単な記事を掲載する。その場合、結果を閲覧できる場所（パンフレット保管場所、HPのURL等）を明記する。



「通信簿」結果を掲示

親水空間をクリックすると、
通信簿が開くイメージ

川流域親水マップ
(平成 年度 月調査実施)

総合評価	対象箇所
★★★★★	公園
★★★★☆	公園
★★★☆☆	公園、 広場、 運動公園
★★☆☆☆	運動公園
★☆☆☆☆	運動公園